

2022年度業務実績報告書

提出日 2023年 1月 12日

1. 職名・氏名 教授 岩谷久美子

2. 学位 学位 博士、専門分野 保健学、授与機関 金沢大学、授与年 2016

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 母性看護学（2単位）3年次前期
② 内容・ねらい 妊娠期・分娩期・産褥期の母親とその子（胎児・新生児）の身体的・精神的・社会的側面からその特徴を概説し、ウェルネスの概念に基づき、健康上の強みを視点に於いた看護の必要性と具体的援助の実際について講義と演習を行う。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 オムニバスで担当するので、お互いの授業の視聴により担当した授業において関連づけながら講義をする。またこの科目が母性看護学実習に直結することから実習記録を授業で活用したり、実習に役立つ技術を中心に取り入れた。
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 母性看護学概論（1単位）2年次後期
② 内容・ねらい 母性看護の基盤となる概念（母性・父性・親性など）と母親および父親の役割取得と発達、女性のライフサイクルに応じた発達課題について教授する。さらに、現代社会の中に産むことと子育てに関する現状と課題を提示し、母性看護学の特徴・役割について教授する。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 周産期に限定せず、女性の一生とその家族を中心とした概念を説明し、また日本や世界の母性看護に関する多方面からの動向や問題点を提供し考える場とした。
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 母性看護学実習（2単位）3年次後期
② 内容・ねらい 母子とその家族を対象として看護を実践する。実習では、周産期の経過や対象の背景を把握し、知識を統合した看護アセスメント・看護計画立案と看護実践・評価を行い、基本的な看護実践能力を身につける。また、実習体験を通して周産期における母性の特性と母性看護の役割について理解を深める。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 1組の褥婦を受け持ち、褥婦その子どもを全体としてとらえて、ウェルネスの観点から看護の必要性を考え、健康的な生活や適応・親役割取得を支援するための看護計画を立案する。また機能別実習として、外来や妊婦などのケアを体験し、妊娠から産褥を通して連続性として捉えることを意識づけた。
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 母子保健学（1単位）2年次後期
② 内容・ねらい 母性は女性の生涯にわたるリプロダクティブヘルス／ライツ（性と生殖に関わる健康と権利）の視点に立ち、母子保健の歴史的な変遷と保健統計、ならびに健全な母性の育成と健康づくりにむけた保健政策の現状と課題を教授する。

<p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 母性看護概論の内容を受けて、母性保健と小児保健の両面から母子保健の現状を理解し、母性の健康の維持増進と子どもの健全な育成にむけた母子保健の意義や考え方を深める内容とした。</p>
<p>① 担当科目名(単位数) 主たる配当年次等 母性看護学発展セミナー(1単位)4年次前期</p>
<p>② 内容・ねらい 国内外のリプロダクティブヘルス&amp;ライツの視点から最近の課題について探求し、母性看護の役割や母子保健について理解を深める。</p>
<p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 国外を問わず、最近の話題や問題について医療・福祉、社会情勢など多方面から情報を収集し、女性の生涯にわたってリプロダクティブヘルス&amp;ライツを脅かしている問題を検討し、女性の健康課題と母性看護の役割・医療従事者としての視点について学習した。</p>
<p>① 担当科目名(単位数) 主たる配当年次等 卒業研究(3単位)4年次通年</p>
<p>② 内容・ねらい 母性看護学領域に関するテーマで一連の研究手法を学ぶ。</p>
<p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 国外を問わず、自分の興味のある研究テーマを選び、文献検索から論文作成の流れを理解する。個人ワークとグループワークを活用しながらモチベーションを維持し自発性を重視した。</p>
<p>① 担当科目名(単位数) 主たる配当年次等 看護研究方法論(2単位)大学院1年次前期</p>
<p>② 内容・ねらい 看護学領域における研究課題の明確化と概念枠組み、論理的思考等の重要性を教授する。さらに、研究課題に沿った研究デザイン、具体的な研究方法等について原著論文等を用いて一連の研究プロセスを教授する。</p>
<p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 看護研究の歴史や研究デザインを学び、概念モデルや研究手法を学ぶため、オムニバス形式で各教員の論文を元にしながら研究能力を身につける内容とした。</p>
<p>(2)その他の教育活動</p>
<p>内容</p>

#### 4. 研究業績

<b>(1)研究業績の公表</b>	
① 著書	【0本】
② 学術論文（査読あり）	【0本】
③ その他論文（査読なし）	【0本】
④ 学会発表等 1,分娩時の助産師の危険認知が可視化できる仮想現実(VR)教材開発の試み(中間報告), 第36回日本助産学会学術集会 (Web 開催), 3/19-20,2022、藤平麻理子,岩谷久美子	【1件】
⑤その他の公表実績 1. 「2023年受験者対象基礎学力到達度チェックテスト」, メディカ出版,問題作成,2022 2. 「第112回看護師国家試験対策テスト 第1回」, メディカ出版,問題作成,2022 3. 「第112回看護師国家試験対策テスト 第3回」, メディカ出版,問題作成,2022 4. 基盤研究 C (研究代表者) 分娩時の助産師の危険認知と行動が自己観測できる仮想環境型教材の開発と評価,実施状況報告書 5. 2022年度第1回滋賀県大 ICT 研究サロンにて講演 テーマ「看護職の技術教育の現状と課題」.2022/12/19	【5本】
<b>(2)科研費等の競争的資金獲得実績</b>	
<b>【学外】</b> 1. 基盤研究 C (研究代表者);分娩時の助産師の危険認知と行動が自己観測できる仮想環境型教材の開発と評価 2. 基盤研究 C (研究代表者);臨床推論力を高める育児支援場面の双方向性に対応できる仮想環境型教材の発展と実証	
<b>(3)特許等取得</b>	
<b>(4)学会活動等</b>	

5. 地域・社会貢献活動

①-2 (県) 1. 福井県母性衛生学会理事 2022年4月～現在に至る ⑤福井赤十字病院の看護研究指導 テーマ「COVID-19 陽性で緊急帝王切開した女性の 出産満足度を高める要因」2022年4月～現在に至る ⑥-1 公開講座 看護・医療職リカレント教育「周産期における安全教育のモデル開 発」,2022/7/30,

6. 大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
福井県立大学看護学科カリキュラム検討委員 福井県立大学看護学科入学試験委員 福井県立大学看護学科職場委員
(3)学内行事への参加
北稜高校への入試説明会 (7/26)
(4)その他、自発的活動など